

まちのわだい

プレゼントで笑顔の交換

ユニバースがサロンたぐきりに家電製品を贈呈

クリスマスを迎えた12月22日、サロンたぐきり（関合征子代表）に㈱ユニバース（三浦絢一社長）からうれしいプレゼントが届きました。贈呈されたのはストーブや暖房便座など計5点で必要なものばかり。スタッフや利用者は笑顔で喜んでいました。



竹内店長を囲んで記念写真。皆、自然と笑顔になります

同社川崎町店の竹内茂樹店長は「地域貢献のために続けている。笑顔を見るとやっぱりうれしい」とスタッフらと同じように笑顔を広げていました。

今回の贈呈は同社が行った愛のチャリティー募金によるもので25年間続けられています。



高校生サンタが大活躍した「くじスマス」



ミカンの詰め放題は親子にも大人気



50万人目の入館者となった久保田さん（左から3番目）左隣は友人の木村美栄子さん



冬の市で、開始と同時に長い列を作ったおしるこの振る舞い

どーっと人込み50万!

街なかでイベント・やませ土風館50万人達成

12月23日、中心市街地で本年度2回目の北三陸くじ冬の市（同実行委員会主催）や高校生が企画したイベントくじスマス2008（ヤンボラ実行委員会）を開催。目白押しの催しに引き寄せられるように大勢の人がまちを訪れました。ミサンガ作りや竹馬などの昔遊び体験を行なった「くじスマス」は子どもたちに大人気。夜もクリスマスライブが行われ、まちは一日中にぎわっていました。

この日、やませ土風館の入館者が50万人を達成。オープンからあっという間の達成に他の来館者も驚きながら祝福の拍手を送っていました。

50万人目となった久保田光子さん（青森県南部町）は「初めて来たが、まちの拠点となる良い施設だと思う。今年は運が悪かったが最後に良いごほうびをもらった」とプレゼントされた特産品を抱えながら満面の笑顔で喜んでいました。

広報リポーターがまちの話題を紹介します!

「ホロロン」と元気な声で小正月



袋を手に各家庭を回る児童ら

1月15日、湊地区に伝わる小正月行事が行われ、児童らが袋を手に各家庭を回りました。児童らが「ホロロン」と大きな声を掛けると家からはお菓子などのお土産が。児童らは袋一杯のお土産に笑顔で喜んでいました。（生平隆リポーター）

「早く元気に」願って披露虎の舞



健康を願って利用者を優しくかむ虎

備前組（三上昌明組頭）の虎舞は1月15日、リハビリタウン久慈の小正月行事で舞いを披露。かまれると無病息災になると言い伝えられている縁起の良い虎は、約80人の利用者に温かいエールを送っていました。（小倉利之リポーター）

地震の恐怖に表情真剣

建築士会などが山根中で耐震授業



地震に弱い住宅構造の説明に聞き入る生徒ら

木造住宅の構造や耐震対策の必要性を伝えるため、県や市、(社)岩手県建築士会久慈支部（生平浩一支部長）などは12月19日、山根中学校（中嶋敦校長・生徒9人）で出前講座を開催。生徒のほか地域住民など約30人が参加しました。

講座では模型を使って地震に強い住宅と弱い住宅の違いや地震の仕組みを説明。倒壊した家屋のライド上映や耐震度の計算演習も行われ、参加者は改めて耐震対策の必要性に理解を深めていました。

立石歩さん（同校2年）は「自分の回りでは被害がなく地震が怖いという実感がなかった。今日の講座で備えの必要性が分かった」と真剣な表情で話していました。

地球の尊さかみ締めて

地球温暖化防止講演会を開催

約5カ月間、第49次南極地域観測隊に同行した侍浜町出身の鹿糠敏和さんを講師に迎えた地球温暖化防止講演会（市地球温暖化対策地域協議会など主催）は1月16日、アンバーホールで開催。約200人の参加者は地球の尊さを改めて実感しました。

「神秘の大陸・南極」と題した講演では鹿糠さんが南極の自然や生物を説明。「人は環境を簡単に壊してしまう。だからこそ、どんな小さな行動でも地球にとっては大きな意味がある」と、南極で見られた美しい地球の「素顔」を映像で写しながら、環境を守ることの必要性を訴えました。

洋野町から訪れた古屋暁さんは「改めて環境を考えさせられた。今後は少しでも省エネに取り組む」と一人一人の行動の大切さをかみ締めていました。



映像を使って南極での貴重な体験を語る鹿糠さん

今年も元気に頑張るぞ!

三船十段記念館で鏡開き



「ヨイショー!」元気な道場生は保護者を圧倒(?)

三船十段記念館（小屋畑武彦館長）の寒稽古を締めくくる恒例の鏡開きは1月18日、同館の柔道場で行われました。小学1年生から中学3年生まで70人の道場生が参加。道場生は紅白試合などで汗を流した後、みんなでついたもちを食べて力と元気を蓄えました。

小屋畑館長はあいさつで「鏡開きは道場生の健康と一年の活躍を願うもの。稽古に励み目標に向かって努力してほしい」と期待を込めると、道場生代表の吉田勇人くん（久慈小5年）と岩館典毅くん（久慈中3年）が全国大会で活躍することを宣言。大きな目標を掲げた道場生に、保護者や柔道関係者は大きな拍手を送っていました。